



Copyright © 2015 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. intra-mart Accel Archiver 2020 Winter からの変更点
- 4. 機能一覧
- 5. システム要件
- 6. 検証済み環境
- 7. サードパーティライセンス一覧
- 8. 制限事項
- 9. 保証規程
- 10. 著作権および特記事項

改訂情報

変更年

月日

変更内容

2021-

初版

04-01

はじめに

本書の内容

本書ではintra-mart Accel Archiverのリリース内容について記載されています。

intra-mart Accel Archiver 2020 Winter からの変更点

システム要件

- サーバ要件
 - PostgreSQL 9.5 を削除しました。
 - PostgreSQL 12 を追加しました。
 - Microsoft SQL Server 2019 を追加しました。
- クライアント要件
 - Google Chrome 86 -> 89 に変更しました。
 - Microsoft Edge 86 -> 89 に変更しました。
- intra-mart Accel Platform
 - intra-mart Accel Platform 2021 Spring(Bergamot) を追加しました。

検証済み環境

- サーバ要件
 - PostgreSQL 12 を追加しました。
 - Microsoft SQL Server 2019 を追加しました。
- クライアント要件
 - Google Chrome 86 -> 88 に変更しました。
 - Microsoft Edge 86 -> 88 に変更しました。

機能一覧

機能一覧

以下に本製品の機能一覧を列挙します。

大分類	小分類	機能概要
基本機能	フォルダ登録	フォルダを新たに登録します
	フォルダ編集	登録済フォルダを編集します
	フォルダ削除	登録済フォルダを削除します
	フォルダコピー	登録済フォルダのコピーを作成します
	フォルダ移動	登録済フォルダを移動します
	フォルダプロパティの設定	フォルダにプロパティ(属性)を設定します
	フォルダタスクの設定	フォルダにタスクを設定します
	フォルダアクセス権設定	フォルダにアクセス権を設定します
	下位フォルダー括展開	フォルダ配下の下位フォルダを全て展開表示します
	ドキュメント参照	登録済ドキュメントを参照します
	ドキュメント登録	ドキュメントを新たに登録します
	ドキュメント編集	登録済ドキュメントを編集します
	ドキュメント削除	登録済ドキュメントを削除します
	ドキュメントコピー	登録済ドキュメントのコピーを作成します
	ドキュメント移動	登録済ドキュメントを他のフォルダへ移動します
	ドキュメントプロパティの設定	ドキュメントにプロパティ(属性)を設定します
	ドキュメントタスクの設定	ドキュメントにタスクを設定します
	ドキュメントアクセス権設定	ドキュメントにアクセス権を設定します
	関連ドキュメントの設定	ドキュメントに他の登録済ドキュメントを関連つけします
	ドキュメント初期表示設定	ドキュメントの初期表示状態を設定します

大分類	小分類	機能概要
検索機能	ドキュメント検索	検索条件で該当するドキュメントを検索します
	タスク検索	タスク状態で該当するフォルダを検索します
	全文検索	全文検索用インデックスで該当するドキュメントを検索します
プラグイン機能	レビジョン管理	ドキュメントのレビジョン（版数）を管理します
	公開処理	ドキュメントの公開日を管理します
	ポータルへの通知	ドキュメントのポータルへの通知を管理します
	IMBoxへの通知	ドキュメントのIMBoxへの通知を管理します
	メールでの通知	ドキュメントのメール通知を管理します
	IM-Workflowとの連携	ドキュメントのIM-Workflow連携を管理します
	登録番号（汎用テキスト）	ドキュメントの登録番号を管理します
	キーワード（汎用テキスト）	ドキュメントのキーワードを管理します
	備考（汎用テキスト）	ドキュメントの備考を管理します
タスク管理	タスクグループ登録	タスクグループの登録を行います
	タスク登録	タスクグループ内にタスクの登録を行います
サムネイル	サムネイル作成	ドキュメント内コンテンツのサムネイル（縮小表示）を作成します
PDF変換	PDF変換	ドキュメント内コンテンツからPDFを作成します
セキュリティ設定	印刷制限	コンテンツをPDF化する際、印刷制限を付与します
	編集制限	コンテンツをPDF化する際、編集制限を付与します
	テキスト抽出制限	コンテンツをPDF化する際、テキスト抽出制限を付与します
	ブラウザ以外の参照制限	コンテンツをPDF化する際、ブラウザ以外の参照制限を付与します
URLコピー	URLコピー	文書管理システム以外からドキュメントに到達可能なURLを作成します

大分類	小分類	機能概要
連携機能	IM-FormaDesigner、IM-BISとの連携機能	IM-FormaDesigner、IM-BISと連携してドキュメント登録します
	IM-LogicDesignerとの連携機能	IM-LogicDesignerと連携してドキュメント登録します
保管期限管理	保管期限管理	ドキュメントの保管期限を管理します
運用データ登録機能	自動登録	参照先に保存されたコンテンツからドキュメントを自動登録します
	一括登録	特定のフォルダにドキュメントを一括登録します
	データインポート	CSV情報に基づいてインポートし、ドキュメントを登録します
運用管理者機能	プロパティ相違ドキュメントの確認	プロパティ相違ドキュメントの確認を行います
	プロパティ相違ドキュメントの通知	プロパティ相違ドキュメントを最終更新者へ通知します
	タスクによるドキュメントの作成状況を確認	タスクによるドキュメントの作成状況を確認します
	フォルダ容量管理	フォルダの容量管理を行います
	フォルダ並び替え	フォルダの並び替えを行います
	システム設定	システム設定値の管理を行います

大分類	小分類	機能概要
ジョブネット	公開日到達処理	公開日に到達したドキュメントに対し公開処理を実行します
	通知日到達処理	通知日に到達したドキュメントに対し通知処理を実行します
	メール通知処理	メール通知処理を実行します
	サムネイル作成	サムネイル未作成コンテンツに対しサムネイル作成を実行します
	自動登録	自動登録を実行します
	一括登録	一括登録を実行します
	データインポート	データインポートを実行します
	アイテム連携ドキュメント登録	アイテム連携ドキュメント登録を実行します
	保管期限到達処理	保管期限到達処理を実行します
	フォルダ使用量取得	フォルダ使用量計算を実行します
全文検索用クローリング	再作成クローリング	全ドキュメント情報から全文検索用インデックスを作成します
	差分クローリング	最後に実行されたクローリング以降の変更分ドキュメント情報から全文検索用インデックスを作成します
	削除クローリング	登録されている全文検索用インデックスを削除します

大分類	小分類	機能概要
ログ出力	ドキュメント操作	ドキュメント操作に関するログを出力します
	コンテンツ操作	コンテンツ操作に関するログを出力します
	フォルダ操作	フォルダ操作に関するログを出力します
	全文検索	全文検索に関するログを出力します
	タスク登録	タスク登録に関するログを出力します
	公開日到達処理	公開日到達処理に関するログを出力します
	通知日到達処理	通知日到達処理に関するログを出力します
	メール通知処理	メール通知処理に関するログを出力します
	インポート	インポート処理に関するログを出力します
	自動登録	自動登録処理に関するログを出力します
	サムネイル作成	サムネイル作成に関するログを出力します
	フォルダ使用量取得	フォルダ使用量取得に関するログを出力します

システム要件

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

サーバ要件

種別	製品名
オペレーティングシステム	Windows Server 2012 (64bit)
	Windows Server 2012 R2 (64bit)
	Windows Server 2016 (64bit)
	Windows Server 2019 (64bit)
	Red Hat Enterprise Linux 7.x (64bit)
	Red Hat Enterprise Linux 8.x (64bit)
Java VM	Oracle JDK 8
	Oracle JDK 11
	OpenJDK 11 (Redhat)
	Amazon Corretto 11
クラウドサービス	Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)
Web Application Server	Resin 4.0.65

Database	Oracle Database 12c Release 2
	Oracle Database 18c
	Oracle Database 19c
	PostgreSQL 9.6
	PostgreSQL 10
	PostgreSQL 11
	PostgreSQL 12
	Microsoft SQL Server 2012
	Microsoft SQL Server 2016
	Microsoft SQL Server 2017
	Microsoft SQL Server 2019
Database（クラウドサービス）	Amazon RDS for Oracle Database
	Amazon RDS for PostgreSQL
Web Server	Internet Information Services 8 (Windows Server 2012)
	Internet Information Services 8.5 (Windows Server 2012 R2)
	Internet Information Services 10.0 (Windows Server 2016)
	Internet Information Services 10.0 (Windows Server 2019)
	Apache HTTP Server 2.4（DSO サポート版）
LibreOffice（登録したコンテンツのPDF変換・サムネイル表示をLibreOfficeで実行する場合）	LibreOffice 5.0.5
	LibreOffice 6.3

intra-mart Accel Platform

- intra-mart Accel Platform 2021 Spring
- 利用する intra-mart Accel Platform のサーバ要件に準じます。

**注意**

データベース等のシステム要件に関して、intra-mart Accel Platform では対応していても、アプリケーションでは対応していない場合があります。
必ず、本ドキュメントに記載されているシステム要件をご確認ください。

特定機能の利用時に必要となるサーバ要件

- IMBox を利用する場合
 - [5.1.2.1. Apache Cassandra システム要件](#)
- IM-ContentsSearch を利用する場合
 - [5.1.2.2. Apache Solr システム要件](#)
- IM-PDFAutoConverter を利用する場合（登録したコンテンツのPDF変換・サムネイル表示をIM-PDFAutoConverter で実行する場合）
 - [IM-PDFAutoConverter システム要件](#)
- IM-PDFCoordinator を利用する場合
 - [IM-PDFCoordinator システム要件](#)
- IM-FormaDesigner for Accel Platform を利用する場合
 - [IM-FormaDesigner システム要件](#)
- IM-BIS for Accel Platform を利用する場合
 - [IM-BIS システム要件](#)

クライアント要件

種別	ハードウェア	OS	ブラウザ
PC	PC/AT 互換機	Windows 10	Internet Explorer 11
			Microsoft Edge 89以上
			Google Chrome 89以上



警告

各ベンダーより提供される、サーバ・クライアント製品のサポート終了に伴う、弊社製品の対応方針について

下記を参照してください。

参考：http://dev.intra-mart.jp/product_policy/（日本語）

Microsoft Windows 10 については、公式がサービスを終了するバージョンはサポート対象外です。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/13853/windows-lifecycle-fact-sheet>（日本語）

<https://support.microsoft.com/en-us/help/13853/windows-lifecycle-fact-sheet>（English）



注意

クライアント要件に記載されているOSとブラウザ以外の組み合わせはサポートされません。

例えば次の組み合わせはサポートの対象外です。注意してください。

- Windows Server 2012 R2 + Internet Explorer 11 など



注意

スマートフォンには対応しておりません。

検証済み環境

以下、弊社動作検証済みの intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせは下記の通りです。

サーバ環境

スタンドアローン構成

OS	JDK	Web Server	Web Application Server	Database
Windows Server 2019	Amazon Corretto11	Internet Information Services 10	Resin 4.0.65	Oracle Database 19c
Windows Server 2019	Amazon Corretto11	Internet Information Services 10	Resin 4.0.65	Microsoft SQL Server 2019
Red Hat Enterprise Linux 7.6	OpenJDK 11	Apache HTTP Server 2.4	Resin 4.0.65	PostgreSQL 12.5
Red Hat Enterprise Linux 8.2	OpenJDK 11	Apache HTTP Server 2.4	Resin 4.0.65	Oracle Database 19c

クライアント環境

OS	ブラウザ
Windows 10	Internet Explorer 11
	Google Chrome 88
	Microsoft Edge 88

サードパーティライセンス一覧

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
PDFRenderer	0.9.1	LGPL-2.1	https://java.net/projects/pdf-renderer
JODConverter	2.2.2	LGPL	https://webbygram.com/opensource/jodconverter/
juh	3.2.1	ASL2.0	http://www.openoffice.org/udk/
jurt	3.2.1	ASL2.0	http://www.openoffice.org/udk/
ridl	3.2.1	ASL2.0	http://www.openoffice.org/udk/
unoil	3.0.1	ASL2.0	http://www.openoffice.org/udk/

制限事項

ダウンロードするファイル名

- ダウンロードするファイル名に「半角スペース」等の文字が含まれる場合、別の文字に変換されます。
この事象を回避するには、コンテンツとして登録するファイル名にこれらの文字を含まないようにしてください。
変換対象となる文字はブラウザによって異なりますので注意してください。

".."（半角ピリオド）から始まるファイルはアップロードできません。

- ". ."（半角ピリオド）から始まるファイルはアップロードできません。

PDF変換機能について

- PDF変換機能を利用している環境で、テキストファイルをコンテンツとして登録する場合、PDF変換機能の文字コードとテキストファイルの文字コードが異なる場合にテキストの内容が文字化けします。
これは IM-PDFAutoConverter または LibreOffice の仕様により発生します。
この現象を回避するためには、登録するテキストファイルの文字コードをPDF変換機能の文字コードに合わせてください。
文字コードが異なる場合、正しくサムネイル化されない、冒頭のテキストデータが正しく表示されないなどの問題の発生する可能性があります。
- PDF変換できるファイル形式は、下記の通りです。
 - ・ IM-PDFAutoConverter を利用される場合
以下のリリースノートをご確認ください。
[IM-PDFAutoConverter](#)
 - ・ LibreOffice を利用される場合
ワープロファイル（doc, docx, txt, rtf, odt, ott, sxw, stw） ※
表計算ファイル（xls, xlsx, ods, ots, sxc, stc）
プレゼンテーションファイル（ppt, pptx, odp, otp, sxi, sti）
描画ファイル（odg, otg, sxd, std, wmf, emf）
（一太郎読み込み拡張アドオンを使用した場合、下記も対象です）
jtd, jtt※今後、LibreOffice のバージョンアップ等によって、一部ファイル形式が対応されなくなる可能性があります。
- コンテンツとして登録した際にファイルがサムネイル化されるかは、下記の通りファイル形式によって異なります。
 - ・ PDF変換ソフト（IM-PDFAutoConverter または LibreOffice）が稼動していなくともサム

PDFファイル (pdf)

画像ファイル (png, bmp, gif, jpg, jpeg, jpe)

- ・ PDF変換ソフトが稼動していないとサムネイル化されないファイル形式

前述の「PDF変換できるファイル形式」で記載されているファイル形式を参照ください。

該当しないファイル形式は、サムネイルの代わりにファイルアイコンが表示されます。

- 登録したコンテンツに何も記載されていない場合、PDF変換対象外と扱われます。
- intra-mart Accel Archiver では「[システム要件](#)」に記載のバージョンにてPDF変換の動作確認を行っています。
サムネイル機能を使用していない環境でもPDFファイルをコンテンツとして登録した場合は、サムネイル化、およびファイル内の記載されている冒頭のテキストデータを表示します。
動作確認している以外の方法でPDFファイルを作成した場合、正しくサムネイル化されない、冒頭のテキストデータが正しく表示されないなどの問題の発生する可能性があります。
- フォルダのコンテンツのセキュリティ設定で「ブラウザ以外の参照制限」にチェックを付ける事で、ブラウザ上以外でコンテンツを参照（コンテンツをダウンロードして参照）する事に制限をかけられますが、サポート対象外のブラウザでは、ブラウザ上での参照にも制限がかかります。
サポート対象は、IM-PDFCoordinatorのサポート対象に準じます。
[IM-PDFCoordinator システム要件のクライアント要件](#)に記載してある、セキュリティ機能の動作条件を参照してください。

intra-mart Accel Archiver 2016 Winter (8.0.5) 以前に作成されたドキュメントについて

- intra-mart Accel Archiver 2016 Winter (8.0.5) 以前に作成されたドキュメントの作成者、組織は以下の仕様でIM-共通マスタの情報を参照します。
そのため、該当するマスタの期間情報、およびマスタ情報自体の削除・無効化は行わないようにしてください。
 - ・ ドキュメントの「作成者」情報について
該当するユーザの名称は、ドキュメント登録時点での期間情報を参照します。
 - ・ その他の「ユーザ」「組織」「ロール」「パブリックグループ」を取得する情報について
該当する名称、所属情報などは、最新の期間情報を参照します。
※intra-mart Accel Archiver 2016 Winter 第2版 (8.0.6) にアップデートしてもintra-mart Accel Archiver 2016 Winter (8.0.5) 以前に作成されたドキュメントには上記の制限事項が適用されます。

システムにアップロードするファイルの上限サイズ

- システムにアップロードするファイルの上限サイズは、システムに影響が出ない範囲で設定してください。
極端に大きいファイルサイズの場合、予期せぬエラーが発生しアップロードできない可能性があります。

- ベースURLが設定されていない場合、ドキュメントの通知・プロパティ相違の通知の機能における「メール」「IMBox」に表示されるURLは、ベースURL部分が表示されません。
この事象を回避するには、ベースURLを設定してください。設定方法は [intra-mart Accel Platform セットアップガイドの5.3.2.2. ベースURL](#) を参照してください。

IM-Juggling でWARファイルを作成時の実行環境について

- IM-Juggling でWARファイルを作成する際の「実行環境」項目では「運用環境」を選択してください。

動作保証外ユーザについて

- 以下条件に該当するユーザでの操作は動作保証外とします。
 - ・ ユーザアカウント情報が存在しないユーザ
 - ・ ユーザプロファイル情報が存在しないユーザ
 - ・ プロファイル、アカウントともに期間外のユーザ
 - ・ intra-mart Accel Platform を多言語設定している環境で国際化情報が設定されていないユーザ

Microsoft Edge でオートコンプリート機能を有効にしている場合、テキストボックスの入力時にスクリプトエラーが発生する場合があります

- オートフィルの設定の「フォームデータの保存」を有効にしている場合に発生します。
開発者ツールのコンソールにエラー内容が出力され、画面の表示や操作には影響はありません。
下記の項目にて確認しております。
 - ・ ドキュメント検索画面の検索条件項目
 - ・ システム設定画面の入力項目

保証規程

保証内容および対象

この保証規程（以下、「本書」という。）および貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

および制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、または当社ホームページ（<https://www.intra-mart.jp/document/library/?product=iaa>）に掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。

また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、またはかかる本製品の対価として

イントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザ登録を完了されたお客様のみに当社が行うもので、当社はその他の対応または保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、およびそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書または貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等およびそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、本書の記載が優先するものとします。

著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上